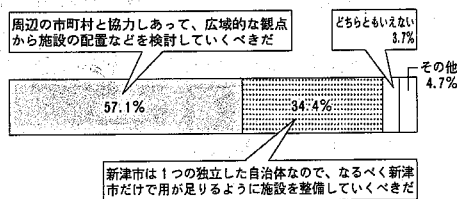


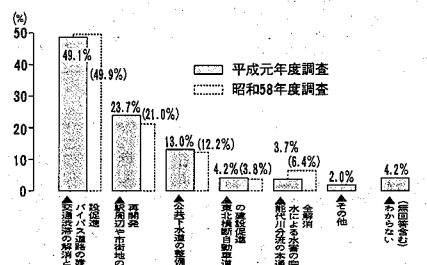
問 21 これからの新津市の施設整備などのあり方について、次の2つの意見のうちどちらに賛成？



※「周辺の市町村と協力しあって、広域的な観点から施設の配置などを検討していくべきだ」が57.1%と過半数を占めました。地域間競争の時代から自らの特質を生かした共存共栄の道を広域圏で求めていることに高い支持が集まっています。

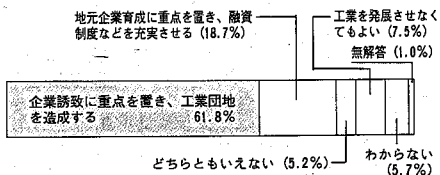
男女別、年代別、職業別にみてもこの傾向は変わらず、特に年代の若い人(20代・30代)、被備者、荻川地区では高い数値を示しています。

問 22 都市基盤や生活環境の整備面で最も急がなければならないものは、何でしょうか。



※「交通渋滞の解消とバイパス道路の建設促進」が49.1%とはほぼ半数を占めています。年代別にみると、「交通渋滞の解消……」を最優先にする意見の多い中で、20代だけは「駅周辺や市街地の再開発」(36.4%)を最も急ぐべきものとしてあげる人が多いようです。また、地区別にみた場合、いずれの地区においても「交通渋滞の解消……」が1位となっていますが、これに拮抗して高い数値を示しているのが、荻川地区での「公共下水道の整備」(26.4%と他の地区の倍以上の数値となっている)、市街地中央部・市街地西部での「駅周辺や市街地の再開発」(それぞれ35.4%、32.8%)です。

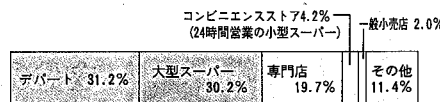
問 19 新津市にはこれといった工業がありません。工業を発展させるためには、次のうち、どちらの方法に力を入れるべきだと思いますか。



※「企業誘致に重点を置き、工業団地を造成する」が61.8%と過半数の支持を集めました。男女別、年代別、職業別、そして地区別にみても、この傾向に変化はありません。

磐越自動車道の開通が視野に入り、中新田地区でのインターチェンジ設置や最近の景気の回復基調など、条件的整備が整ってきたことから、「企業誘致」は、より現実的な対応策として市民に理解されているようです。

問 20 新津市の中心街が魅力あるまちとなるためには、どのような店が増えればよいと思いますか。



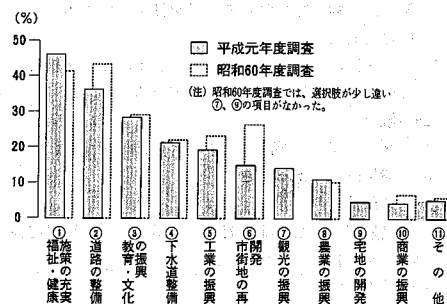
※「デパート」と「大型スーパー」が拮抗しながら、2つで6割以上を占めています。これらは、中心街を魅力あるまちにするためには、集客性のある施設がどうしても必要という考え方で一致しています。年代別では、20代・40代が「デパート」「大型スーパー」「専門店」の順、30代・60代が「大型スーパー」「デパート」「専門店」の順、そして50代ではちょっと考え方が変わって「専門店」「大型スーパー」「デパート」の順になっています。

デパートなどの大型店舗の進出を求める意見は、職業別、地区別にみても、ほぼ同じような傾向にあるといえます。ただ、地区別の市街地東部でだけは、「専門店」の増加を1位にあげています。

／右下から
わからないなどの理由で「わからない」と答える人も多く、15.2%を占めています。

付記された意見には、単に市民に負担を求めるのではなく、企業誘致など市独自の税収収入源を開発しながら、施設の整備や制度の充実を図っていくべきであるという意見が多くありました。また、経費の節減に努める一方で、これからの将来、新津にとって何が必要なのか、その選択に熟慮が必要という意見なども目立ちました。

問 18 財政状態が苦しくても、新津市として、ぜひこれだけは力を入れてほしいというものを選んでください(2つ選択)。



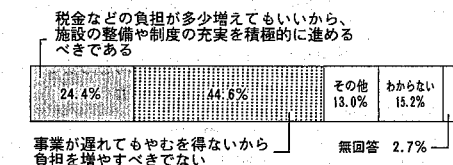
※最重点にやってほしいと望むものとして「福祉・健康施策の充実」(42.9%)をあげる人が最も多くなっています。次いで「道路の整備」(33.9%)、「教育や文化の振興」(26.4%)の順になっています。

男女別にみると、男性の1位は「道路の整備」(39.4%)、女性の1位は「福祉・健康施策の充実」(50.3%)となっています。また、年代別にみると、20代は「道路の整備」を、30代になると「教育・文化の振興」、40代以上は「福祉・健康施策の充実」をまず第一に望んでいることがわかります。職業別では、農業で「農業の振興」がトップとなり、自営業、無職では「道路の整備」、被備者では「福祉・健康施策の充実」が最も強い重点項目となっています。また、地域別では、さつきなど花の産地化に力を入れている小合地区で「農業の振興」が1位、磐越自動車道を含めた交通環境の急変を意識してか市街地東部では「道路の整備」が1位となるなど、各地域の諸事情を反映した結果が出ています。

まちづくりの基礎に④

今回で最後となりましたが、市民意識調査の間17から問22までの結果概要をお知らせします。今回は、今後のまちづくりの進め方について、市民の要望や意識を把握しようと設けられた質問が中心です。

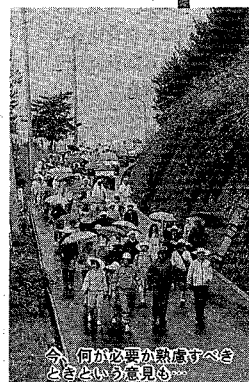
問 17 地方財政が厳しくなっていますが、これからの新津市の事業の進め方について、どうあるべきだと思いますか。



※「事業が遅れてもやむを得ないから、負担を増やすべきでない」が44.6%を占めています。男女別、年代別、職業別、地区別にみても、総じて同じ傾向にあります。しかしながら、他の質問と比べ、付記された意見が39件もあったことから分かるように、それぞれの層の考え方に微妙な違いが見られます。

「事業が遅れても、……負担を増やすべきでない」は、職業別にみた場合、農業で60%と特に支持する人が多く、自営業、被備者(サラリーマン)で30%台、主婦、無職でそれぞれ40%台の支持となっています。「負担が多少増えてもいいから、施設の整備や制度の充実を進めるべきである」は全体として24.4%。職業別では自営業(28.9%)、被備者(27.3%)、地区別では市街地中央部(33.8%)で高めの数値が出ています。

また、地方財政の内容がくわしく(左上へ)



今、何が求められているのか、という意見も

お買物、ご用命は市内で

お買物、ご用命は市内で

本町4
チュウリップ店会
お店紹介

歓送迎会・各種宴会に手造り料理

安く食べられる店

おぐま鮮魚

本町4丁目
☎22-3004(代)

襖、壁、障子、天井、カーテン
ブラインド、カーペット、クッションフロア
美術表装、額、掛け軸

表具一心堂

本町3 ☎22-2035

ご卒業の皆さん おめでとうございます

☆営業ご案内

・O2 & AHA パーマ・エステ&メイク
※本町店・駅前店共に朝の1時間は電話予約制です。
定休日…毎週火曜日・第3日曜日

渡辺美容院

本町3 能代川寄りの下道通り
☎(22)0626

ヘアーステーション
わたなべ駅前店
新津駅前通り ☎(22)2611